

普及促進委員会の活動

普及促進委員会 委員長 坊垣 和明（武蔵工大）

1. 普及促進委員会の目的と活動方針

1.1 普及促進委員会の目的

普及促進委員会は、各部会での調査研究活動の支援および成果の広報等を集約し効率的に実施することを目的として設置された。

1.2 活動内容と方法

(1) 成果の普及・広報

成果を普及促進するためのシンポジウムや講演会の開催、メディアへの広報等を行う。

(2) 調査・研究活動の支援

部会横断的な調査・研究活動の統括、共同研究の支援（研究費獲得など）等を行う。

(3) 調査や研究および成果の普及のための組織の設立・運営

共同研究等の効果的な推進のための組織を設立し運営を行う。また、将来的には有用な技術を発掘し普及するための技術認定制度のような仕組みの確立と運営などを担う。

2. 活動の概要

(1) 成果の普及・広報

シンポジウムの開催

特別講演と活動の経過報告を中心とするシンポジウムを開催した。

第2回健康維持増進住宅シンポジウム 2008年9月5日（金）TOKYO FM HALL

内容：特別講演（星旦二、首都大学東京教授）全体活動報告（村上委員長）部会活動状況報告（吉野部会長、田辺部会長）。200名以上が参加。

学会等への発表・記事掲載

別紙参照

(2) 調査・研究活動の支援

先進事例に関する海外調査の支援（健康影響低減部会）

「室内空気環境と健康に関するカナダ・米国における研究動向調査」を実施予定。

時期：2008年11月16日～23日

訪問先：カナダ・米国の研究機関等5か所程度を企画

NRC(National Research Council of Canada)ではワークショップ開催

設計コンペの実施（設計部会）

健康な暮らしと健康な住まいについて広く提案を募るためのコンペ実施を企画・支援。

(3) 調査や研究および成果の普及のための組織の設立・運営

コンソーシアムの設立

産学官の合同による「健康維持増進住宅研究コンソーシアム」を設立（2008年7月1

日) 活動を開始(発会式、2008年7月10日)した。

3. 今後の活動

(1) 成果の普及・広報

書籍の出版

「すまいと健康 - 健康維持増進住宅のすすめ - 」(仮題)のような、住まいの健康に関する本を出版する。

2008年末をめどに資料を集積し、年初より項目・内容を設定し執筆。6月頃の出版を目指す。

シンポジウムの開催

第2回シンポジウム 2009年3月26日(木)

設計コンペの講評や海外調査の結果の報告を中心とする

第3回シンポジウム 2009年6～8月頃(未定)

出版される本をテキストとしたシンポジウムを開催する(予定)。

(2) 部会活動の支援

海外先進事例調査等、各部会の活動を支援する業務の企画、実施を検討する。

(3) コンソーシアムの運営

健康維持増進住宅研究コンソーシアムの運営を支援する。

図1 普及促進委員会の活動計画(案)

